

# 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	ヨシキ ヒコ 吉久 光一 <平成27年4月>		工学博士		名城大学学長 (平成27年4月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等												
(理工学研究科応用化学専攻修士課程)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に 従事する週平均日数
1	専任	教授	オホシ タカ 大脇 健史 <平成29年4月>		博士(工学)		環境化学特論 グリーンケミストリー特 論【隔年】 環境・エネルギー科学特 別演習・実験ⅠA 環境・エネルギー科学特 別演習・実験ⅠB 環境・エネルギー科学特 別演習・実験ⅡA 環境・エネルギー科学特 別演習・実験ⅡB 組成分析化学※ 生命有機分析化学※	1前 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後	2 2 2 2 2 2 0.2 0.1	1 1 1 1 1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科教 授(平成26年4 月)	5日
2	専任	教授	ナカタ トシ 永田 央 <平成29年4月>		博士(理学)		応用有機化学特論【隔 年】 応用生命分子科学特論 【隔年】 生命有機化学特別演習・ 実験ⅠA 生命有機化学特別演習・ 実験ⅠB 生命有機化学特別演習・ 実験ⅡA 生命有機化学特別演習・ 実験ⅡB 組成分析化学※ 生命有機分析化学※ 無機物質分析化学※	1前 1前 1前 1後 2前 2後 1前 1後 1後	2 2 2 2 2 2 0.1 0.4 0.3	1 1 1 1 1 1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科教 授(平成25年4 月)	5日
3	専任	教授	ハン エリコ 坂 えり子 <平成29年4月>		博士(工学)		機能性エネルギー材料特 論 無機材料科学特論【隔 年】 環境・エネルギー科学特 別演習・実験ⅠA 環境・エネルギー科学特 別演習・実験ⅠB 環境・エネルギー科学特 別演習・実験ⅡA 環境・エネルギー科学特 別演習・実験ⅡB 組成分析化学※ 構造機器分析化学※	1前 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1前	2 2 2 2 2 2 0.1 0.2	1 1 1 1 1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科教 授(昭和61年10 月)	5日
4	専任	教授	ハン トウ シュン 坂東 俊治 <平成29年4月>		博士(理学)		応用物性化学特論【隔 年】 応用磁気化学特論【隔 年】 物質物理化学特別演習・ 実験ⅠA 物質物理化学特別演習・ 実験ⅠB 物質物理化学特別演習・ 実験ⅡA 物質物理化学特別演習・ 実験ⅡB 組成分析化学※ 構造機器分析化学※ 無機物質分析化学※ 特別講義Ⅰ 特別講義Ⅱ	1前 1前 1前 1後 2前 2後 1前 1前 1後 1・2前 1・2前	2 2 2 2 2 2 0.4 0.3 0.1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科教 授(平成13年4 月)	5日
5	専任	教授	マルヤマ タカヒロ 丸山 隆浩 <平成29年4月>		博士(理学)		機能ナノマテリアル特論 物質物理化学特別演習・ 実験ⅠA 物質物理化学特別演習・ 実験ⅠB 物質物理化学特別演習・ 実験ⅡA 物質物理化学特別演習・ 実験ⅡB 組成分析化学※ 構造機器分析化学※ 無機物質分析化学※ アドバンスト・インター ンシップ	1後 1前 1後 1後 2前 2後 1前 1後 1後	2 2 2 2 2 2 0.2 0.2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科教 授(平成14年4 月)	5日

## 教 員 の 氏 名 等

(理工学研究科応用化学専攻修士課程)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 単 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり 平均日数
6	専任	准教授	オサリ マサキ 小澤 理樹 <平成29年4月>		博士(工学)		物質機能物理化学特論 物質物理化学特別演習・ 実験 I A 物質物理化学特別演習・ 実験 I B 物質物理化学特別演習・ 実験 II A 物質物理化学特別演習・ 実験 II B 組成分析化学※ 構造機器分析化学※ 無機物質分析化学※	1前 1前		2 2	1 1	名城大学理工学 部応用化学科准 教授(平成21年 4月)	5日
7	専任	准教授	タカ マサシ 田中 正剛 <平成29年4月>		博士(工学)		機能性高分子材料特論 【隔年】 バイオマテリアル特論 【隔年】 生命有機化学特別演習・ 実験 I A 生命有機化学特別演習・ 実験 I B 生命有機化学特別演習・ 実験 II A 生命有機化学特別演習・ 実験 II B 生命有機分析化学※	1前 1前 1前 1後		2 2 2 2	1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科准 教授(平成26年 4月)	5日
8	専任	准教授	フジタ リツミ 藤田 典史 <平成29年4月>		博士(理学)		先端超分子化学特論【隔 年】 ソフトマター特論【隔 年】 生命有機化学特別演習・ 実験 I A 生命有機化学特別演習・ 実験 I B 生命有機化学特別演習・ 実験 II A 生命有機化学特別演習・ 実験 II B 組成分析化学※ 生命有機分析化学※	1後 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後		2 2 2 2 2 2 0.1 0.3	1 1 1 1 1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科准 教授(平成25年 4月)	5日
9	専任	助教	イケハ ユミコ 池邊 由美子 <平成29年4月>		博士(工学)		導電材料特論 低温物性特論【隔年】 環境・エネルギー科学特 別演習・実験 I A 環境・エネルギー科学特 別演習・実験 I B 環境・エネルギー科学特 別演習・実験 II A 環境・エネルギー科学特 別演習・実験 II B 構造機器分析化学※	1後 1前 1前 1後 2前 2後 1前		2 2 2 2 2 2 0.2	1 1 1 1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科助 教(平成21年4 月)	5日
10	専任	助教	サイタ ケンロウ 才田 隆広 <平成29年4月>		博士(工学)		固体表面化学特論 生命エネルギーデバイス 特論【隔年】 環境・エネルギー科学特 別演習・実験 I A 環境・エネルギー科学特 別演習・実験 I B 環境・エネルギー科学特 別演習・実験 II A 環境・エネルギー科学特 別演習・実験 II B 無機物質分析化学※	1後 1前 1前 1後 2前 2後 1後		2 2 2 2 2 2 0.2	1 1 1 1 1 1 1	名城大学理工学 部応用化学科助 教(平成25年4 月)	5日

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に取容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	2人	3人	人	人	5人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博 士	人	人	3人	人	人	人	人	3人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	2人	人	人	人	人	人	2人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	2人	3人	2人	3人	人	人	10人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。